

【議案第1号】

令和4年度NPO法人北海道遺産協議会事業報告

(1) 遺産の価値向上・発信

1) 第4回選定の実施(2021年度~10月)

北海道遺産設立20年の節目である2021年度から募集を開始し、2022年10月13日(どいさんの日)に新たな北海道遺産6件を公表した。既存遺産の名称変更による件数の見直しも行ったため、北海道遺産は総計74件となった。

①審査

一次審査(5月)、現地調査(6~7月)、二次審査(8~9月)を行った。現地調査は関係分野の方々で構成するワーキンググループにご協力をいただき実施した。二次審査は、歴史・遺産・生態系・考古学・都市・市民活動・メディアなど各分野の専門家13名に加わっていただき実施した。

②審査員説明会

日時:2022年8月19日(金)15時~

会場:TKP札幌カンファレンスセンターカンファレンスルーム7BおよびZoom

出席者:外部審査員6名(欠席者はアーカイブ映像を視聴)、理事4名

③ワーキンググループ会議の実施

<第1回>

日時:2022年4月18日(月)17時~

出席者:WGメンバー4名、理事・事務局4名

内容:全申請物件に関する基礎情報調査について

<第2回>

日時:2022年5月31日(火)19時~

出席者:WGメンバー4名、理事・事務局4名

内容:二次審査候補の現地調査について

<現地調査および二次審査資料作成>

実施期間:2022年6~8月

協力者:WGメンバー5名、理事・事務局5名

④新規遺産および北海道遺産構想の周知

10月13日(どいさんの日)の新規遺産公表では、多くの新聞・メディア等に新規遺産と北海道遺産の取組を取り上げていただいた。新選定遺産を追加したパンフレット・広報物等の制作を行い、選定後の各イベント等で周知を行った。

北海道遺産 6件追加

新たに選ばれた北海道遺産

「もかわの循環型森林文化 上川管内下川町
北海道米のルート「赤毛米」 北広島市
今金・美利河の金山道路 稚内今金町
仙台藩白老元陣屋 脇振管内白老町
十勝三股の樹海 十勝管内上士幌町
下の句かるた 道内各地



黄金色に実った赤毛米。寒冷な東北以北での

収穫の跡となった=9月、北広島市

赤毛米に仙台藩元陣屋下の句かるたも

合計74件に

北海道遺産はこれまでに公表された
ものと合わせて、地元の魅力へ
つながる新たな北海道の魅力として
認知されるよう取り組んでいた
ところだ。

2) 「北海道遺産交流会議（選定証授与式）の開催」(11月23日)

交流会議（北海道遺産サミット）と併せて、第4回選定の選定証授与式を開催した。授与式では鈴木直道北海道知事より来賓挨拶をいただいたほか、新遺産の代表者の皆さまとともに記念撮影を行った。交流会議では令和4年度の助成活動について、「ほっかいどう遺産 WAON」助成活動の4団体、伊藤園「お茶で北海道を美しく。キャンペーン」助成活動の1団体の皆さまよりご報告いただいた。続いて、新遺産の魅力やこれまでの活動などを紹介する機会として、協議会理事と新遺産の担い手の皆さまによるパネルディスカッションを行った。

<開催概要>

◆第4回選定 選定証授与式

1. 開会挨拶 北海道遺産協議会 会長 石森 秀三
2. 来賓挨拶 北海道知事 鈴木 直道 様
3. 選定証授与
4. 写真撮影



◆交流会議

1. 令和4年度助成活動報告

「ほっかいどう遺産 WAON 助成」

◇天塩川流域移動史探訪事業

音威子府村若手まちづくりグループ nociw* 横山 貴志 様

◇道南ご当地カッキー第2 弾&子どもたちへの縄文文化普及啓発事業

縄文 DOHNAN プロジェクト 代表 山田 かおり 様

◇北海道遺産「サケの文化」の次世代担い手発掘プロジェクト

一般社団法人石狩シェアハピシティ計画 代表理事 荒谷 聖二 様

◇北海道遺産「北海幹線用水路」の景観保全と環境整備の活動

疏水ほっかい愛護連絡協議会 事務局次長 高柳 広幹 様

「お茶で北海道を美しくキャンペーン寄付助成」

◇静内二十間道路桜並木への桜の植樹活動

新ひだか町総務部まちづくり推進課 課長 中村 英貴 様



2. 第4回選定遺産活動紹介

『今金・美利河の金山遺跡』
びりか

今金町教育委員会 地域おこし協力隊員 矢原 史希 様

『仙台藩白老元陣屋』 仙台藩白老元陣屋資料館 館長 武永 真 様

『しもかわの循環型森林文化』

下川町政策推進課 SDGs 推進戦略室 室長 亀田 慎司 様

『十勝三股の樹海』 上士幌町商工観光課 主査 自然館担当 乙幡 康之 様

『北海道米のルーツ「赤毛米」』 北広島商工会 振興課長 工藤 功治 様

『下の句かるた』 全日本下の句歌留多協会 事務局長 吉田 雅人 様

コメンテーター： 北海道遺産協議会 理事 佐々木 晃一

北海道遺産協議会 監事 山田 大隆

ファシリテーター： 北海道遺産協議会 理事 池ノ上 真一



3) 「北海道遺産フォトコンテスト 2022 の開催」(7月17日～9月30日)

各地の北海道遺産に足を運んでもらうきっかけづくりとして、「あなたが伝えたい北海道遺産」をテーマにしたフォトコンテストを実施した。入選作品は11月に実施した「北海道ヘリテージウィーク」や、担い手連携事業の『北海道遺産巡回写真展』などで展示した。<応募：70名・125作品>



▲ グランプリ 佐々木 郁太郎 様
「静寂の刻」(旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群)



右▲ 準グランプリ 加藤 良明 様
「ゴールドの輝き」(積丹半島と神威岬)

▶ 準グランプリ 坂口 正剛 様
「恵比寿・大黒岩の夜明け」(積丹半島と神威岬)

4) 「北海道ヘリテージウィーク 2022 の開催」(11月 26 日)

札幌駅前通地下歩行空間（北三条広場（西側））を会場に「北海道ヘリテージウィーク 2022」を開催した。同会場で 11 月 27 日に実施された「地域遺産 PR イベント in チカホ」（主催：北海道）と連携して展示を行い、同イベントに参加の道内日本遺産認定地の方々のパネル展示と地域の方にもブースに参加していただいた。大型モニターでは日本遺産の紹介映像の放映も行った。その他、北海道遺産 74 件分のパネルと新しい分布図の展示、北海道遺産フォトコンテスト 2022 入選作の展示、令和 3 年度助成活動紹介パネル展示、クイズの実施や北海道遺産投票（アンケート）を行った。



<『あなたの好きな北海道遺産に投票』@チカホ>

回答数：149

順位	得票数	遺産名
1	20	積丹半島と神威岬
2	19	旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群
3	18	モール温泉
3	18	野付半島と打瀬舟
5	15	摩周湖

5) 「Bunkazai Design Contest 2022 の開催」(12月1日～3月31日)

文化財の新しい考え方・魅力・価値を伝えるデザイン表現によって、これから多くの人々が地域遺産に親しむことや関わりをもつきっかけになることを目指して、前年度に引き続き、日常的に使われるトートバッグに展開するデザインを募集した。今年度は海外と日本全国の幅広い世代からの応募があり、応募数89作品・応募者76名と、前年度に引き続き増加傾向で、その中から、入賞2作品、佳作1作品、入選6作品を選出した。2023年度には、入賞作品を使ったトートバッグを制作し、会員特典として活用するほか販売を予定する。

<Bunkazai Design Contest 2022～北海道の歴史文化を暮らしのグッズに～>

募集期間： 2022年12月1日（木）～2023年2月15日（水）

審査員： 伊藤千織（伊藤千織デザイン事務所/プロダクトデザイン）

照井康穂（株式会社照井康穂建築設計事務所/建築）

平塚智恵美（有限会社叶多プランニング/商品化、アートマネジメント）

野村ソウ（スタジオワンダー/グラフィックデザイン）

酒井秀治（株式会社SS計画/まちづくり、コミュニティデザイン）

矢野ひろ（NPO法人北海道遺産協議会）

応募総数： 89作品（前年度50作品）

入賞作品： 坂本 牧葉「北海道ラーメンにつかって」

西田 清彦「タウシュベツ橋」

佳 作： 北村 友莉「北の生命」

入選作品： あべみちこ「じっくり味わう北海道遺産」

坂本 牧葉「橋でつなぐ風景」

折戸 朗子「食べちゃえ！北海道」

藤川奈美絵「ピアソン記念館とピアソン夫妻」

古賀真由美「雪合戦」

伊藤 永羽「思い返したくなる記憶」

▼ 入賞作品トートバッグ
「北海道ラーメンにつかって」



▼ 入賞作品トートバッグ
「タウシュベツ橋」



6) 「北海道遺産 食で伝えるプロジェクト」(随時)

前年度、各地の担い手にご協力いただき、「食」をキーワードにして北海道遺産の魅力や価値をSNSで発信した内容を基に、WEBに「食で伝えるプロジェクト」ページを制作し発信を強化した。また、「食」の分野で親和性の高い、企業、百貨店のご協力を得て、一般市民が多数訪れる売場等でパネル展示やパンフレットの配布、北海道遺産投票（アンケート）等を行い、北海道遺産と地域の食の魅力について普及啓発を行った。

<北海道遺産・食で伝えるプロジェクト 特設ページ>

北海道遺産

北海道遺産とは

北海道遺産協議会

助成事業

北海道遺産を応援

北海道遺産・食で伝えるプロジェクト

北海道遺産 × 食絶景北海道 FOODIE ISLAND HOKKAIDO

コンセプト

北海道首工は、「ダンディスカン」のまろは「食」そのものがあり、「質前のニシン漁場」のまろは「食」が生まれているもの、「北海幹線用木路」のまろは「遺産を持つ物語が北海の『食』を生み出しているもの」、「食」で表現するものだ。

また、2020年には北海道で初めて食文化シンポジウム「食絶景北海道」は、美味しい食の実感は移々な「絶景」へ遊びや大地を楽しむ新たな食文化をめざして開催されました。

北海道立は20周年を記念し、2021年10月から、《Q》モードでは北海道遺産の物語や絶景を順次お伝えしています。

記事一覧

空知のお米と「北海幹線用木路」

新米の炊き立てご飯をかじる上級米。白んばはは、黄金色の芯がある稲穀の上級米。まさにそれは「食絶景」。北海幹線用木路は、農地の研究室で育成された品種で、丁寧な育て方でこだわって育てています。まさにアーティストがんばっています。

ヨシゴロ米を育てている空知一つの「食絶景」は、赤平町と南相馬町までの距離で約40km。北海道では日本一の「北海幹線用木路」。空知のヨシゴロ米は、北海道で最も長い木路で、約1ヶ月までの120日間、各地であります。ヨシゴロには重要なのは、丹波と特有の栽培技術があります。丹波は、丹波で育てたヨシゴロ米は、丹波の水と丹波の土で育てられています。

北海幹線用木路全長約80km

空知のお米と「北海幹線用木路」

新米のヨシゴロ米を育てる上級米。白んばはは、黄金色の芯がある稲穀の上級米。まさにそれは「食絶景」。北海幹線用木路は、農地の研究室で育成された品種で、丁寧な育て方でこだわって育てています。まさにアーティストがんばっています。

ヨシゴロ米を育てている空知一つの「食絶景」は、赤平町と南相馬町までの距離で約40km。北海道では日本一の「北海幹線用木路」。空知のヨシゴロ米は、北海道で最も長い木路で、約1ヶ月までの120日間、各地であります。ヨシゴロには重要なのは、丹波と特有の栽培技術があります。丹波は、丹波で育てたヨシゴロ米は、丹波の水と丹波の土で育てられています。

北海幹線用木路全長約80km

<「遺産のまちにおいしい食あり！」北海道遺産を食べて伝えたいパネル展>

日時：2022年11月18日（金）～20日（日）
会場：イオンモール札幌発寒1Fすずらん広場
協力：イオン北海道



<『行ってみたい！お気に入りの北海道遺産に投票』@イオン発寒店>

実施期間：11/18～11/20 回答数：320

順位	得票数	遺産名
1	48	モール温泉
2	43	ニッカウヰスキー余市蒸溜所
2	43	積丹半島と神威岬
4	42	野付半島と打瀬舟
5	39	五稜郭と箱館戦争の遺構

<高島屋第69回北海道の物産と観光「秋の大北海道展「北海道遺産」パネル展」>

開催日・会場：

2022年9月28日(水)～10月10日(月・祝)・京都店

2022年9月28日(水)～10月17日(月)・大阪店

2022年10月5日(水)～10月17日(月)・日本橋店

2022年10月12日(水)～10月25日(火)・柏店

2022年10月12日(水)～10月25日(火)・岐阜店

2022年10月19日(水)～11月3日(木・祝)・横浜店

2022年10月26日(水)～11月8日(火)・新宿店

2022年10月26日(水)～11月7日(月)・高崎店

※日本橋店では1階ショウウインドウにてディスプレイを制作。

主催：高島屋百貨店



7) 「北海道遺産アーカイブプロジェクト」(11月～)

北海道遺産地域の情報整理「(仮称) 北海道遺産カルテづくり」に向けた検討を予定していたが、次年度以降、協議会の次期長期ビジョンの検討と合わせて検討することとした。

8) 「北海道遺産 20 年史の作成」(通年)

昨年度、北海道遺産第 1 回選定から 20 年の節目を迎えたことや、今年度、第 4 回選定で新たな遺産が誕生することを機会として、これまでの北海道遺産を振り返る冊子の制作を行った。(6 月発行予定)

9) 「北海道遺産ラッピングバスの制作」

昨年度 20 周年を迎えたことを機に記念事業として企画し、北海道中央バス（株）ご協力のもと、「北海道遺産ラッピングバス」を制作した。車体には 7 件の北海道遺産の写真やロゴマークを掲示し、見る人々に魅力や迫力を感じていただけるようなレイアウトとした。北海道庁前で行われたお披露目会には、北海道中央バス二階堂社長と鈴木知事にご参加いただき、バスの視察や記念撮影を行った。4 月から定期観光バスやツアーバスとして運行される予定。



▼ 1/18 お披露目会（北海道庁本庁舎東側前庭）



10) 「クリプトン・フューチャー・メディアと連携した情報発信」(通年)

クリプトン・フューチャー・メディア（株）との連携により、ニュース・イベント情報サイト「Domingo」での発信を予定していたが、掲載時期等の調整不足により実施できなかった。

11) 「シニックバイウェイ推進協議会（事務局：開発局）との連携事業」（通年）

これまで、パネル展示等で相互協力を行っていた、シニックバイウェイ推進協議会と、2023年3月13日に包括連携協定を締結した。今後は、シニックバイウェイルートと包括連携団体の実務担当者会議への出席や、関連する事業でのより一層の連携を進める。



12) 「web 等での情報発信と管理運営」(通年)

各地の北海道遺産をはじめとする地域遺産に関する情報を、公式ウェブサイト、twitter（フォロワー4,151名）、Instagram（フォロワー554名）、facebook（フォロワー4,284名）で発信した。

＜北海道遺産 facebook ページリーチ（記事閲覧）数 上位記事＞

▼ 3/5 投稿「「北海道ヘリテージラボ」を開催します。」(リーチ数 : 2535)

▼ 1/18 投稿「北海道遺産ラッピングバス完成」(リーチ数: 2202)

北海道遺産 Hokkaido Heritage

作成者: 佐藤 03/18/2023

3/26(日) 「北海道ヘリテージラボ」を開催します。ヘリテージラボは地元遺産に関する勉強会で平成29年度から実施7回目の開催となります。今回は北海道遺産「開拓使時代の見廻屋敷」の一つである旧山邸の四重堂とともにつながる手箱御山の歴史について、明治・大正時代に御山開拓にあつた石川耕治の「子供でもある石川耕治さんにならぬしない」だめます。年末未だおもしろい特権ですか? ぜひ参加ください。お申込みは下記フォームからお願いいたします。

日時: 3月26日(日) 14:00~15:00

場所: 北海道立道民活動センターかでのる・7

9階 940㎡修習室

登録料: 15歳以上(消費者税) ※参加無料

申込: 下記のGoogleフォームからお申込みください。

URL: <https://x.gd/05N3Y>

主催: NPO法人北海道遺産協議会



北海道ヘリテージラボ - オープンラボ2023 「旧永山邸と手鉱鉱山」

1911(明治44)年、三重合資会社は炭鉱開拓の運営本部とするため旧山邸の土地・建物を一括買収。函函溝をもぎ、道内各地で監山園を行ってきました。一方、家の本棟から残る人々の歴史が今も語り継がれていた手箱御山を15(昭和10)年に一括買収した新潟県立道民活動センターから分社化)が特徴です。どのような歴史が山と山からつながる手箱御山の歴史について、明治・大正時代に御山開拓にあつた石川耕治など子弟でもある石川耕治さんをおもい出させていただきます。

日時
2023年
3月26日(日) 14:00~15:00

会場
北海道立道民活動センターかでのる・7
9階 940㎡修習室
(札幌市中央区北2条西7丁目)

申込
Googleフォームよりお申込みください
URL: <https://x.gd/05N3Y>

講師

石川 成昭さん
タクミ・石灰・陶器・漆器
NPO法人の監修者・監査員・農業常務監事
土木学者・北海道電力
函函水木・函函電燈専務

主催: NPO法人北海道遺産協議会 info@hokkaidoisou.org

インサイトと広告を見る

34 口 いいね! 口 コメントする 口 シェア13件

▼ 2/5 投稿「さっぽろ雪まつり(1)むかわの恐竜」(リ
ーチ数 : 1503)



13) 「会員特典の制作」(随时)

前年度実施した「Bunkazai Design Contest 2021」の入賞作品を用いたトートバッグを制作し、会員特典として活用した。また、協議会の日々の活動を伝えるニュースレター「北海道遺産だより」を2号発行した。

<「北海道遺産だより」27号>

<「北海道遺産だより」28号>

14) 「イベントへの参加・展示 PR」(随時)

◇「北海道遺産展」(常設：札幌市・中央バス札幌ターミナル2階)

北海道中央バス株式会社のご協力をいただきターミナル2階の1室において展示ブースを設営。北海道遺産74件のパネルを展示。

◇「離島とつながるフェア」ブース出展

(5/21～5/22：札幌市・イオンモール札幌発寒1Fすずらん広場)

北海道の離島がイオンモール札幌発寒に集まるPRイベント(主催・北海道)にて、パネル展示や第4回選定相談会を実施。ステージイベントでは田村利尻富士町長と北海道遺産協議会理事によるトークセッションを行った。

◇「北海道遺産パネル展」開催

(8/2～8/3：札幌市・北海道庁1階特設展示場B)

道庁ロビーにて北海道遺産のパネル展示を実施。「北海道遺産フォトコンテスト2021」の入選作品を中心に展示。ほっかいどう遺産WAON・伊藤園「お茶で北海道を美しく」キャンペーンのR03年度助成金活動パネル展示も行った。

◇「2022年度秋の北海道フェア」ブース出展

(9/22～9/27：埼玉県越谷市・イオンレイクタウンmori)

埼玉県越谷市のイオンレイクタウンmoriでの2022年度秋の北海道フェアにて、北海道遺産パネルを展示した。北海道遺産に関する来場者アンケートやクイズを実施し、回答者には北海道遺産ポストカードなどを提供した。

<北海道の宝物「北海道遺産アンケート」inイオンレイクタウンmori>

アンケート実施期間：9/23～9/25 回答数：122

項目	順位	得票数	遺産名
過去に訪れたり、体験したことのある北海道遺産 (上位5位)	1	24	摩周湖
	2	21	登別温泉地獄谷
	3	16	五稜郭と箱館戦争の遺構
	4	12	函館山と砲台跡
	4	12	路面電車
	4	12	スキーとニセコ連峰
これから行ってみたい、体験してみたいと思う北海道遺産 (上位5位)	1	33	流氷とガリンコ号
	2	19	ニッカウヰスキー余市蒸溜所
	3	17	五稜郭と箱館戦争の遺構
	4	14	江差追分
	5	13	稚内港北防波堤ドーム

◇「ほっかいどう遺産WAON」縄文応援カード」PRイベント

(9/30：札幌市・イオンモール札幌発寒1Fすずらん広場)

今年度新しく発売された縄文応援カードのPRイベントを実施(主催・北海道)。鈴木知事、イオン北海道青柳社長、石森北海道遺産協議会会長によるトークイベントや、「ほっかいどう遺産WAON」カードの販売を行った。

◇ 「イオンモール札幌平岡 de 北海道遺産「下の句かるた」」開催

(1/9 : 札幌市・イオンモール札幌平岡センター北)

下の句かるたの展示や解説、子ども選手による協議かるたのデモンストレーションなどを行い、観覧者などに北海道遺産パンフレットを配布した。(主催・全日本下の句歌留多協会札幌支部)

◇ 「北海道遺産「利尻島の漁業遺産群と生活文化」PRイベント」ブース出展

(3/11~3/12 : 札幌市・地下歩行空間)

利尻島の歴史文化に興味関心をもってもらうことを目的とした PR イベント(主催・利尻しまじゅうエコミュージアム)にて、パネル展示を実施。



▲ 5/21-22 イオンモール札幌発寒 1F すずらん広場
「離島とつながるフェア」



▲ 8/2-3 北海道庁 1階特設展示場B
「北海道遺産パネル展」



▲ 9/30 イオンモール札幌発寒 1F すずらん広場
「ほっかいどう遺産 WAON」縄文応援カード
PR イベント



▲ 1/9 イオンモール札幌平岡センター北
「イオンモール札幌平岡 de 北海道遺産
「下の句かるた」」



▲ 3/11-12 札幌市・地下歩行空間
「北海道遺産「利尻島の漁業遺産群と生活文化」
PR イベント」

◆ 「その他の PR 活動」(隨時)

◇新聞・雑誌・定期刊行物などへの寄稿・協力

- ・『地域遺産有効活用・人材育成研修会』(北海道総合政策部)での話題提供。
- ・『シーニックバイウェイ』への寄稿。
- ・『開発こうほう』(北海道開発協会)表紙への写真提供。
- ・『2022年版 HOKKAIDO MAP 179 北海道市町村区域図』(NPO法人日本自治アカデミー)の作成協力。
- ・北海道創生ジャーナル「創る」(北海道総合政策部)への寄稿・取材協力。

◇リーフレット・情報誌などの設置・配布

- ・中央バス札幌ターミナル2階の北海道遺産パネル展会場などでパンフレットの設置・配布をいただいた。
- ・『みんなおいでよ！北海道ジオパーク展2023』(白滝ジオパークブース内)にてパンフレットを配布いただいた。

◇企業・団体などによる北海道遺産の活用・紹介及び北海道遺産ロゴマークの活用

- ・NHK札幌放送局による番組内(「おはよう北海道」等)での北海道遺産映像の紹介。
- ・下記PRツール等に北海道遺産のロゴマークが活用された。
『パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌2022各種広報物』(公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会)
『トロッコ乗車、機関車清掃の体験参加者募集チラシ』(北海道鉄道文化保存会)。
『札幌軟石を紹介した旧小樽新聞社の工事仮囲い』(株式会社アトリエアクト)。
『会報誌「市電のふるさとNo.32』(市電の会)
『苗穂歴史まち歩きマップ(看板)』(札幌市建設局)
『ばんえい競馬カレンダー2023』(ハクバオウジ株式会社)
『北広島産お米セットへの赤毛米説明リーフレット』(北広島商工会)
『北海道遺産選定に係る懸垂幕及び横断幕』(仙台藩白老元陣屋資料館)
『利尻島の歴史・文化に係る観光ポスター・チラシ』(利尻富士町観光協会)
『旧花田家番屋利用案内看板』(小平町教育委員会)

市電のふるさと
No.32 2022



▲『ばんえい競馬カレンダー2023』
(ハクバオウジ株式会社)

◀ 会報誌「市電のふるさとNo.32」
(市電の会)

- ・下記書籍等の表紙・本文に北海道遺産の概要や写真等が活用された。

『BS 日テレ特番「北海道旅』』

(ライド株式会社)

『ディスカバー土木 -日本の社会インフラ再発見-』

(株式会社 平凡社)



▲『ディスカバー土木 -日本の社会インフラ再発見-』
(ライド株式会社)

◆ 「ニュースレターの発行」(年2回)

第4回選定をはじめとする協議会の活動情報などを掲載したニュースレター「北海道遺産だより」を2号発行し、正会員・賛助会員・関係者等に送付した。

◆ 「北海道遺産グッズ」の販売 (通年)

(2) 支援の仕組みの構築

1) 「ほっかいどう WAON 助成活動」支援 (6月~) ※兼「I. 人材育成」

今年度も、2021年度ほっかいどう遺産 WAON 寄附金を活用し、遺産地域への活動助成を行った。20団体に総額700万円の助成を行った。

※助成先の活動については「資料5」：令和4年度「ほっかいどう遺産 WAON」助成活動報告参照

2) 「お茶で北海道を美しくキャンペーン助成活動」支援 (6月~)

今年度も、「株式会社伊藤園「お~いお茶 お茶で北海道を美しく。」キャンペーン寄附金を活用し、特に遺産地域の自然や景観の保全活用に関する活動への助成を行った。

3団体に総額80万円の助成を行った。

※助成先の活動については「資料6」：令和4年度「お~いお茶 お茶で北海道を美しく。」キャンペーン助成活動報告参照

3) 持続可能な支援の仕組み検討 (通年)

北海道遺産所在地の活動支援を目的に、クラウドファンディングサイト「READYFOR」のパートナー制度への登録を行った。今後、北海道遺産地域団体がクラウドファンディングに挑戦する際には、実行プロジェクトの事前相談等を受け付ける。次期長期ビジョンの検討は次年度に検討をスタートさせる。

※「READYFOR」クラウドファンディングパートナー制度については別添資料参照

4) 会員拡大 (随時)

(3) 人材育成

1) オープンラボ（随時）

地域遺産の保存活用に関する勉強会として通算7回目となるオープンラボを開催した。テーマは「旧永山邸と手稻鉱山」で、北海道遺産「開拓使時代の洋風建築」の一つである旧永山邸と、そこからつながる手稻鉱山について、明治・大正時代に鉱山開発を手掛けて、手稻鉱山にも関わりの深い石川貞治のご子孫でもある石川成昭さん（NPO法人炭鉱の記憶推進事業団常務理事、夕張石炭博物館館長）にご講演いただいた。

日時：3月26日（日）14:00～15:00

場所：かでる 2・7 940 研修室



北海道ヘリテージラボ・オープンラボ2023
「旧永山邸と手稻鉱山」

主催：NPO法人北海道遺産協議会 info@hokkaidoisan.org

講師：石川 成昭さん

日時：2023年3月26日（日）14:00～15:00

会場：北海道立道民活動センター かでる2・7 940研修室
(札幌市中央区北2条西7丁目)

申込：Googleフォームよりお申込みください
[URL: https://x.gd/05N3Y](https://x.gd/05N3Y)

主催：NPO法人北海道遺産協議会 info@hokkaidoisan.org

2) 担い手ネットワーク構築（11月～3月）

各地域の担い手同士が繋がり、より活発に展開できるネットワークを構築するためのきっかけづくりとして、『北海道遺産巡回写真展』を実施した。各会場では、過去の北海道遺産フォトコンテストの入賞作品の中から各会場施設が選んだ作品20点ほどと、各施設が所蔵している北海道遺産関連資料を展示していただいた。会期前の情報共有や、会期移行時の合同会議で地域間の情報交換などを行い交流を図ったほか、第一期会場の方が第二期会場を視察に訪れるなど担い手の交流の機会となった。

【第一期】

会場：標茶町博物館「ニタイ・ト」
日時：2月7日(火)～2月24日(金)



【第二期】

会場：霧多布湿原センター
日時：3月4日(土)～4月8日(土)



3)「北海道遺産学」、「北海道遺産マイスター」「北海道遺産アンバサダー」事業の検討(11月～)

「北海道遺産学」の検討については、北海道遺産アーカイブプロジェクトによる情報収集や、今年度、包括連携協定を結んだシニックバイウェイ北海道の関連団体である、ほっかいどう学推進フォーラムとの連携も視野に入れて検討することとする。「北海道遺産マイスター」「北海道遺産アンバサダー」制度については次年度に検討をスタートさせる。

(4) その他事業について

◆理事会・総会の開催

今年度の総会は感染症拡大防止対策を講じた上で3年ぶりに集会形式にて開催し、理事会は引き続きハイブリッド形式にて開催した。

○第1回理事会

◇日時 令和4年5月18日（水） 17:00～20:00

◇会場 北海道遺産協議会事務局およびオンライン会議システム Zoom

◇内容 令和3年度事業報告、収支決算及び監査報告、令和4年度事業計画（案）、及び収支予算（案）、理事改選について、総会日程について、第4回選定一次審査会

○令和4年度 通常総会

◇日時 令和4年6月29日（水） 15:00～17:00

◇会場 北海道庁本庁舎9階 職員監会議室（交渉室）

◇内容 令和3年度事業報告、収支決算及び監査報告、役員の改選について（案）、令和4年度事業計画（案）、及び収支予算（案）

○第2回理事会

◇日時 令和4年9月21日（水） 17:00～20:00

◇会場 北海道遺産協議会事務局およびオンライン会議システム Zoom

◇内容 審査員評点結果について報告、江差町の北海道遺産2件について、第4回選定の今後のスケジュール

○第3回理事会

◇日時 令和4年10月4日（火） 16:00～17:00

◇会場 北海道遺産協議会事務局およびオンライン会議システム Zoom

◇内容 第4回選定遺産の決定について、今後のスケジュール

◆会員の募集

北海道遺産会員に対し引き続き継続をお願いした。

－令和4年度 正会員・賛助会員一覧－

◇市町村（47会員）

小樽市／紋別市／函館市／下川町／標津町／京極町／名寄市
俱知安町／弟子屈町／士別市／黒松内町／別海町／札幌市

松前町／登別市／むかわ町／稚内市／標茶町／伊達市／音更町
中標津町／江別市／ニセコ町／浜中町／帶広市／月形町／石狩市
積丹町／上富良野町／音威子府村／上ノ国町／様似町／上士幌町
江差町／厚岸町／雨竜町／新ひだか町／鶴居村／遠軽町／旭川市
鹿部町／増毛町／三笠市／中川町／小清水町／余市町／足寄町

◇団体・協会（38会員）

NPO法人炭鉱の記憶推進事業団／公益財団法人網走監獄保存財団
公益財団法人三浦綾子記念文化財団／一般社団法人余市観光協会
特定非営利活動法人市民創作「函館野外劇」の会／北の縄文道民会議
石狩川下覽櫂／NPO法人北海道鉄道文化保存会／NPO法人ピアソン会
一般社団法人石狩シェアハビシティ計画／北海土地改良区
一般財団法人北海道歴史文化財団／利尻しまじゅうエコミュージアム
夢里塾／認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト／砂川観光協会
十勝川温泉旅館組合／縄文DOHNANプロジェクト
昭和新山国際雪合戦実行委員会／一般社団法人石狩観光協会
北海道遺産ジンギスカン応援隊／旭橋を語る会事務局
公益社団法人北海道観光振興機構／公益社団法人北海道アイヌ協会
土の博物館土の館／積丹観光協会／一般財団法人道南歴史文化振興財団
音更町十勝川温泉観光協会／札幌村郷土記念館保存会
NPO法人天塩川を清流にする会／札幌軟石ネットワーク
NPO法人日本自治ACADEMY／NPO法人ダウン・ザ・テッシ
NPO法人ひがし大雪アーチ橋友の会／一般社団法人夕張市観光プロモーション
北海道和種馬保存協会／苗穂駅周辺まちづくり協議会
北海道農業協同組合中央会

◇企業・その他（10会員）

医療法人社団宮崎整形外科医院／福山醸造（株）
オホーツク・ガリンコタワー（株）／（株）北海道新聞社
北海道中央バス（株）／サッポロビール（株）／北海道旅客鉄道（株）
弁護士法人あいち刑事事件総合法律事務所／雪印メグミルク（株）
エムエムエスマンションマネージメントサービス（株）

◇役員・個人（33会員）